



糖尿病内科より

糖尿病内科医師 渡邊 薫



平素より当院の診療にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2024年4月に開設いたしました糖尿病内科は、おかげさまで1周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の先生方や訪問看護ステーションの皆様から多くのご紹介・ご支援をいただいたおかげと、心より感謝申し上げます。開設当初はご不便をおかけすることもあったかと存じますが、現在では体制も整い、外来診療に加えて「糖尿病教育入院（数日～最大2週間）」も開始しております。コメディカルスタッフによる、食事・運動療法の指導体制も充実しております。また、年内には持続血糖測定器「Freestyleリブレ2」の導入を予定しており、血糖モニタリングが必要な患者様の治療方針検討にもご活用いただけます。合併症検査のみのご依頼や、薬剤調整に関するご相談も随時承っておりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。現在、初診は火曜・木曜に設定しておりますが、患者様のご都合や緊急性に応じて柔軟に対応いたします。必要に応じて、横浜市立大学附属病院などの専門医療機関へのご紹介も行っております。今後も地域の皆様の健康を支える一助となれるよう、皆様と連携しながら診療に取り組んでまいります。ご要望やご相談がございましたら、どうぞ遠慮なく当院の地域連携室までご連絡ください。引き続き、よろしくお申し上げます。

Instagram紹介

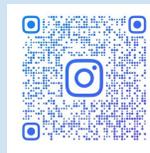
事務サポートチーム 小林 優弥



当院のInstagramでは求職者の方を対象に院内の紹介やグループの活動、職員食堂のイベントメニューなどの情報を発信しています。これまでリハビリテーション科の勉強会の様子やグループ表彰式の様子などを投稿してきました。Instagramの開設をして1年、たくさんの方に磯子中央病院を知っていただけて大変嬉しく思います。これからも当院の様々な情報をお届けしていきます。



Follow Me!!



磯子中央病院 透析室のご紹介

当院の透析室では、現在、医師2名（非常勤）、看護師6名、臨床工
学技士4名が在籍し、外来透析および入院透析の両方に対応していま
す。外来透析では、ご自宅から通院される患者様に加え、当院関連の
老人ホームやグループホームからの通院も受け入れており、地域の皆
様に幅広くご利用いただいております。入院透析においては、手術前
後の周術期やリハビリ目的の入院に加え、他施設でブラッドアクセス
作製後の新規透析導入にも対応しております。透析装置は12台を備
えており、そのうち10台はオンラインHDFに対応。月・水・金、
火・木・土の週6日、各日2クール体制で透析を行っています。HD
（血液透析）やオンラインHDFの他、DHP（血液吸着療法）、



CART（腹水濃縮濾過再静注法）、CHDF（持続的血液濾過透析）など、幅広い治療法に対応しています。また、
フットケアにも力を入れており、月1回のフットチェックでは、患者様ご自身では行き届かない部分へのケアを行
うとともに、異変の早期発見に努め、必要な検査や治療へとつなげています。自己血管内シャントに対しては、透
析室内で定期的なシャントエコーを実施。治療が必要と判断された場合には、循環器内科と連携し、シャントPTA
（経皮的血管形成術）を行っています。透析室内は、ゆとりのあるベッド間隔を確保し、患者様一人ひとりに寄り
添った安心・安全な透析治療を提供できるよう、医師・看護師・臨床工学技士が連携して体制を整えております。
地域の医療機関や訪問看護ステーションの皆様とも連携を深めながら、より良い透析医療の提供に努めてまいりま
す。ご相談やご紹介など、どうぞお気軽にお問い合わせください。

歯科 活動報告

歯科は現在、歯科医師5名(非常勤4名)、歯科衛生士8名(非常勤3名)、受付・助手2名(非常勤
1名)、さらに非常勤の看護師2名が在籍しており、チーム医療のもと、質の高い歯科診療を
提供しています。診療では、マイクロスコープや歯科用CTを活用し、より精密で安全な治
療を行っています。大学病院所属の口腔外科専門医による外科処置では、必要に応じて麻
酔科医と連携し、静脈鎮静や全身麻酔下で処置をすることにより、高齢者や障害をお持ち
の方も安心して治療を受けていただける体制を整えています。高血圧、心疾患、脳血管疾
患など、全身疾患を抱え治療が困難な患者様や、地域包括医療病棟の患者様にも、病院な
らではの多職種連携体制を活かし、安全に配慮した歯科治療を行っています。昨年度より、
回復期リハビリ病棟の入院患者様に対する口腔ケアの充実を図り、必要に応じて拔牙や義
歯の作成なども実施しております。また嚥下機能の評価には、大学病院所属の嚥下専門医
が入院患者様や施設入居者様を対象に診察を行い、食形態や飲み込みの状態を評価し、そ
の方に適した食事環境の提供に努めています。当科は、『口腔から全身へ』という視点で、
患者様一人ひとりにとって本当に必要なことは何かを考え、入院中に可能な限り口腔環境
を改善し、全身状態の回復を支援することを目指しています。私たちの歯科は、高齢者
の方々に必要な治療・ケア・予防・管理をトータルで行える体制を整えており、病棟は
もちろん、関連施設にも積極的に関与することで、患者様の生活の質を支え、最後まで責任を持って診ていける
歯科医療の実現を目指しています。今後も院内外の各部署と密に連携しながら、一人でも多くの患者様の口腔機
能の回復と健康維持に貢献してまいります。

